

7.地域福祉に関する施策

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	地域福祉
基本方針	「地域力」のあるまちづくり	基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	7-01-①	施策名	地域福祉の担い手の育成と活躍の促進

施策の概要

中間支援組織である(福)草津市社会福祉協議会と連携し、福祉講座の実施や各種ボランティア活動への支援等を通じて、地域福祉の担い手の育成や地域で活動する人の輪を広げます。また、民生委員・児童委員等の福祉の担い手が活動しやすい環境を整えます。

成果指標(単位)	民生委員・児童委員活動日数(日)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	46,000	46,000	46,000	46,000
実績値	45,837	43,473			

成果指標実績に対するコメント

委員活動日数は前年度比で2364日(-5.2%)減少し、一人あたりの年間活動日数もおおよそ9日減少した。
3年に一度の委員一斉改選の年度であったことから、新旧委員間の引継ぎがあり、通常地域活動に充てられる時間が一時的に減少したものと考えられる。

施策の達成度評価

(福)草津市社会福祉協議会と連携し実施している福祉教養大学や福祉委員を対象にした学習会等の内容を見直したことにより、地域福祉の担い手の育成やボランティア活動の活性化に繋げることができた。
また、民生委員・児童委員(以下「委員」という。)の一斉改選や各単位民児協(14民児協)の会長および市民児協の主任児童委員代表に対し、ノートパソコンを配備するなど、委員が活動しやすい環境の構築に努めた。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.35私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする」「No.33私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである」「No.32私は、同じ町内(集落)に住む人々を信頼している」「No.34暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」があり、いずれも偏差値が60を上回る結果であった。
ウェルビーイングの観点からも、引き続き、ボランティア活動の活性化や民生委員・児童委員が活動しやすい環境の構築に努めたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

委員が地域のパイプ役として、日常的な見守り、声かけ、個別相談などに安心して取り組めるよう、引き続き(福)草津市社会福祉協議会との連携を強化し、委員活動の支援、活動しやすい環境の整備を行う。
また、(福)草津市社会福祉協議会が実施する地域福祉活動をテーマにした講座やボランティアの育成・活動等への支援や委員活動の情報発信を通じて、若い世代の福祉意識の向上や新たな地域福祉の担い手の育成・確保の取組を進める。

地域福祉の担い手の育成やボランティア活動の活性化、民生委員・児童委員が活動しやすい環境の構築は、「No.35私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする」「No.33私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである」「No.32私は、同じ町内(集落)に住む人々を信頼している」「No.34暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、引き続き、高い水準を維持・向上できるよう、上記の取組を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
民生委員児童委員協議会活動補助事業	健康福祉政策課	○	各単位民児協(14民児協)の会長および市民児協の主任児童委員代表に対し、ノートパソコンを配備するなど、民生委員・児童委員がより効率的に活動できるよう環境の整備を行うことができたため。
社会福祉協議会活動補助事業	健康福祉政策課	○	(福)草津市社会福祉協議会において、草津市福祉教養大学等の見直しを行い、福祉講座やボランティアマルシェを開催するなど、地域福祉の担い手の育成を図ることができたため。

■施策評価シート7-01-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
民生委員児童委員諸事務	健康福祉政策課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
32	私は、同じ町内(集落)に住む人たちを信頼している	実数	3.4	3.4			
		偏差値	74.1	74.1			
33	私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである	実数	3.2	3.2			
		偏差値	73.5	74.7			
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9	2.9			
		偏差値	60.7	61.3			
35	私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする	実数	3.4	3.5			
		偏差値	78.3	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)	89							

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	地域福祉
基本方針	「地域力」のあるまちづくり	基本方針に関連するSDGsの目標	          
施策番号	7-01-②	施策名	地域福祉を支えるネットワークづくり

施策の概要 各学区社会福祉協議会およびまちづくり協議会や町内会の活動等を中心に暮らしの問題を解決する住民主体の活動を広げ、地域で支えるネットワークづくりを促進するため、地域福祉関係者との連携により、「地域力」を高める取組を推進します。

成果指標(単位)	避難行動要支援者名簿への登録者数(人)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	4,600	4,700	4,800	4,900
実績値	3,901	4,462			

成果指標実績に対するコメント 昨年度より登録者数は500名以上増加したが、死亡・転居等による登録を抹消される方もいたことから、目標値に対する達成率は97.0%と未達となった。

施策の達成度評価 令和6年度にWeb申請(電子申請サービス)を開始したことにより、登録しやすい環境が整備できたほか、登録勧奨の対象者を従来の新規対象者に加えて、80歳の未登録者にも拡大し、当該制度の普及啓発を図ったことから、登録者数が大幅に増加した。 その他、住民主体の活動を広げるために、(福)草津市社会福祉協議会及び社会福祉関係団体の活動支援を通して、地域福祉活動の促進を図ることができた。 当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.35私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする」「No.33私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである」「No.32私は、同じ町内(集落)に住む人たちを信頼している」「No.29私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」「No.34暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.37この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」があり、おおむね偏差値が60を上回る結果であり、実数・偏差値ともに維持または向上していた。 ウェルビーイングの観点からも、引き続き、(福)草津市社会福祉協議会及び社会福祉関係団体の活動支援を通して、地域福祉活動の促進に取り組んでいきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方 登録者数増加に向け、アプローチ対象の検討を行うとともに、地域内における助け合い・支え合いの仕組みとして、本制度が有効に機能するよう、引き続き未登録者への周知・啓発、および他自治体の取組等を参考に調査検討を行う。 また、(福)草津市社会福祉協議会及び社会福祉関係団体の活動支援を通して、引き続き地域福祉活動の促進を図る。 (福)草津市社会福祉協議会及び社会福祉関係団体の活動支援を通じた地域福祉活動の促進は、「No.35私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする」「No.33私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである」「No.32私は、同じ町内(集落)に住む人たちを信頼している」「No.29私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」「No.34暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.37この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、引き続き、高い水準を維持・向上できるよう、上記の取組を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
社会福祉関係団体補助事業	健康福祉政策課	○	社会福祉関係団体が行う活動への補助・支援を通じて、地域福祉活動および地域で支え合うネットワークづくりを進めることができたため。
地域福祉計画推進事業	健康福祉政策課	○	(福)草津市社会福祉協議会が実施する各種事業に対して補助・支援を行うことを通じて、地域における助け合い・支え合いの推進を図ることができたため。
避難行動要支援者登録制度推進費	健康福祉政策課	○	登録申請書の見直しやWeb申請の導入とともに、登録勧奨の対象者を拡大することで、避難行動要支援者名簿の作成・登録を推進することができたため。
地域コミュニティ支援推進事業	人とくらしのサポートセンター	○	高齢者等ごみ出し支援事業の制度化により、ごみ出し支援団体が結成され、ごみ出しに困難を抱える方を地域で支える仕組みづくりが進んだことで、地域の支え合い・助け合い活動の推進につながったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
社会を明るくする運動啓発推進事業	健康福祉政策課
戦没者遺族等援護推進事業	健康福祉政策課
福祉バス運行事業	健康福祉政策課
福祉事務所運営事業	健康福祉政策課
戦没者遺族等援護推進事業	人とくらしのサポートセンター

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
29	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.6	66.0			
32	私は、同じ町内(集落)に住む人々を信頼している	実数	3.4	3.4			
		偏差値	74.1	74.1			
33	私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである	実数	3.2	3.2			
		偏差値	73.5	74.7			
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9	2.9			
		偏差値	60.7	61.3			
35	私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする	実数	3.4	3.5			
		偏差値	78.3	80.0			
37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	57.7	58.4			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)	73	75	86					

■施策評価シート

7-02-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	地域福祉
基本方針	福祉の総合的な相談・支援の充実	基本方針に関連するSDGsの目標	         
施策番号	7-02-①	施策名	セーフティネットの充実

施策の概要

経済的な困窮等、市民の生活安定の危機に対し、福祉施策や年金、重層的支援体制整備事業による支援、生活保護制度の適用等を行います。また、働く意欲と能力のある人への就労支援や、住まいに困窮される人への市営住宅等の供給を行います。

成果指標(単位)	就労を理由として生活保護を廃止したケースの比率(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	2	2	2	2
実績値	1.6	2.3			

成果指標実績に対するコメント

就労を理由として生活保護を廃止したケースの割合は、令和5年度の1.0%(9件/915世帯)から令和6年度の1.6%(15件/970世帯)と0.6ポイント増加し、令和7年度は2.3%(23件/1,025世帯)となり、目標値を達成することができた。
ケースワーカーや就労支援員による継続的な就労支援や就労意欲の喚起に加え、ハローワークをはじめとした関係機関との連携による支援を実施した結果、就労による自立につながったものと考えられる。

施策の達成度評価

生活保護制度により市民の最低限度の生活を保障するとともに、ケースワーカーや就労支援員による就労支援、ハローワークをはじめとした関係機関との連携支援を実施することで、就労による自立につながることができた。また、生活困窮者自立支援事業や重層的支援体制整備事業と連携し、就労に直結しない課題を抱える方に対しても、相談支援や社会参加支援等を行うことで、自立に向けた支援を進めることができた。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」「48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」があるが、いずれも偏差値が55前後であった。
本市は、交通アクセスが発達していることから、就労先を市内に限定することなく、市外に求めるケースも多いが、ウェルビーイングの観点からも地域資源の活用に向け、市内の就労先を新規開拓するなど、就労支援がより効果的になるよう手法を検討したい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

被保護者のうち稼働能力のある方に対しては、引き続きケースワーカーや就労支援員による就労指導・就労支援を実施するとともに、ハローワークをはじめとした関係機関との連携を強化し、就労による自立を支援する。また、就労に向けた準備や生活面での課題を抱える方に対しては、生活困窮者自立支援事業や重層的支援体制整備事業を活用しながら、相談支援や社会参加に向けた支援等を行い、一人ひとりの状況に応じた段階的な自立支援を推進する。

就労支援の取組は、単に就労先を紹介するのではなく、「48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」といった指標にかかるウェルビーイング向上に資するように、ケースワーカーや就労支援員が被保護者に寄り添い、関係機関と連携しながら事業を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
生活保護費支給事務	生活支援課	○	生活保護を申請された方に対して、資産調査等を実施し、適正に生活保護を適用したため。 また、被保護者の収入状況を的確に把握し、適正に生活保護費の支給を行ったため。
多機関協働等事業	人とくらしのサポートセンター	○	既存制度や各分野のみでは対応困難な複雑化・複合化した課題等を抱える世帯に対し、総合調整(コーディネート)やアウトリーチ支援、参加支援等を実施した結果、自ら支援につながることが難しい人等へ包括的な支援を行うことができたため。
国民年金事務	保険年金課	○	国民年金への加入、学生納付特例、免除・猶予等の申請受付および年金相談を実施した結果、被保険者の年金受給権を確保することができ、健全な生活の維持および向上に寄与することができたため。
市営住宅運営事業	市営住宅課	△	住まいに困窮される方に市営住宅の新規募集を行っているが、老朽化等により募集可能な住戸を十分に提供できていないため。

■施策評価シート 7-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
公営住宅建設事業	市営住宅課
生活保護費返還金債権管理回収事務	生活支援課
生活保護法施行事務	生活支援課
行旅病人・行旅死亡人に対する扶助事業	人とからしのサポートセンター
災害被災者見舞金交付事業	人とからしのサポートセンター
社会福祉関係団体補助金事務	人とからしのサポートセンター
就労支援対策事業	商工観光労政課
定額減税補足給付金給付事業	人とからしのサポートセンター
在日外国人高齢福祉金支給事務	保険年金課
物価高騰対応ぐらし応援給付金給付事業	物価高騰対応重点支援室

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
48	私の暮らしている地域では、やりがい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8			
		偏差値	55.6	56.1			
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	54.9	56.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)		122						

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	地域福祉
基本方針	福祉の総合的な相談・支援の充実	基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	7-02-②	施策名	福祉の総合相談窓口の充実

施策の概要
多様で複合的な生活課題を抱える人の相談を受け、相談者に寄り添いながら共に課題を整理し、(福)草津市社会福祉協議会等の関係機関や地域と連携することで、それぞれが世代や分野を超えて「丸ごと」つながる総合的な相談・支援を行います。

成果指標(単位)	「福祉の総合的な相談・支援の充実」に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	20.7	21.4	22.1	22.8
実績値	20	20.5			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、「福祉の総合的な相談・支援の充実」に満足している市民の割合は、目標値を若干下回ったものの、前年度に比べ0.5ポイント増加した。多様かつ複合的な生活課題を抱える人へ寄り添いながら相談・支援を行い、各種制度や関係機関等につなげることで課題解決に向けた取組を進めることができたことが要因の一つと考えられる。

施策の達成度評価
多様で複合的な生活課題を抱える相談者に対し、関係機関等と連携しつつ、生活困窮者自立支援制度をはじめとする各種制度や就労支援等へのつなぎを行うことで、本人や世帯全体の課題解決に向けた支援を進めることができた。今後も制度周知に取り組み、必要な人に必要な支援が届く体制の充実を図る必要がある。
当施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標において、「No.34 暮らしている地域には、困った時に相談できる人が身近にいる」の偏差値が61.3と最も高く、「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」および「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」の指標においても前年度の偏差値を上回る結果であった。 本市では多様で複合的な生活課題を抱える相談者に対し、関係機関等と連携しつつ、生活困窮者自立支援制度をはじめとする各種制度や就労支援等へのつなぎを行っており、ウェルビーイング向上の観点からも、上記の指標の水準を踏まえ、引き続き、相談者に寄り添いながら相談・支援を行い、各種制度や関係機関等につなげることで課題解決に向けた支援を継続して実施していきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
多様で複合的な生活課題を抱える人に対し、関係機関等との連携を図りながら、生活困窮者自立支援制度をはじめとする各種制度等を活用し、必要な人に必要な支援が届けられるよう相談・支援の充実に取り組む。
生活困窮者をはじめとした、ひきこもりや生きづらさを感じている人や世帯に対し、就労相談、住まいの相談、家計相談、学習支援・居場所の提供、適切な機関へのつなぎなどを行うことは、「No.34 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.47 私の暮らしている地域では、学びたいことを学ぶ機会がある」「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」といった指標にかかるウェルビーイングの向上に資する取組であると考えている。令和7年度は令和6年度と比較し、4つ中3つの指標で偏差値が高くなっていることから、今後もこれらの指標をさらに高い水準とするために、引き続き生活課題の深刻化を防ぎ自立支援を推進するため、関係機関等と連携した総合的な相談・支援を行っていく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
生活困窮者自立支援事業	人とくらしのサポートセンター	○	多様かつ複合的な生活課題を抱える相談者に対し、福祉の総合相談窓口として相談を受け止め、相談者に寄り添いながら課題整理を行うとともに、生活困窮者自立支援制度による支援や各種制度、関係機関へのつなぎを行い、自立や課題解決に向けた支援を進めることができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】											
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9		2.9						
		偏差値	60.7		61.3						
47	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	実数	3.1		3.1						
		偏差値	57.6		55.5						
48	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	実数	2.8		2.8						
		偏差値	55.6		56.1						
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9		2.9						
		偏差値	54.9		56.5						

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】										備考	
客観指標No. (令和7年度)			80	115	116	117	122				